

なかよし塩川 第9号

令和5年 12月15日 文責：教頭（阿部）

2 学期後半を振り返って号

6 年生 五感を使って修学旅行

10月18日（水）19日（木）に、コロナ禍明け数年ぶりの東京方面への修学旅行に出かけました。2日間ともに天候に恵まれ、仲間と共にたくさんのことを学び、感じ、考えた貴重な時間となりました。主な見学場所は、国会議事堂、浅草寺、国立科学博物館、東京スカイツリー、東京ソラマチ、羽田空港機体工場、東京ドームシティアトラクションズです。

国会議事堂では、地元の国会議員さんに案内をしていただいたり、浅草寺ではすごい人ごみの中、買い物や食品サンプル体験を楽しんだりしました。国立科学博物館や羽田空港機体工場では、なかなか目にするのできない、貴重なものを目にしたり、体験したりして終始目を輝かせている6年生でした。今回、何よりも嬉しかったことは、6年生全員でスカイツリーから関東平野を一望できたことです。

6年生は2学期の初めから、仲間と協力して、準備や学習を進めてきました。今回、各見学場所でメモを取りながら説明を真剣に聞く姿や、普段教室では学べないことを五感を使って学ぶ姿がありました。2日間とも周りの状況に応じて、自分たちで考えて、さっと動き、学び、楽しむ姿がありました。

今回の経験は一生忘れない宝物になります。修学旅行でお世話になった多くの方々、準備や日々の体調管理等で温かく見守っていただいた保護者の皆様への感謝を忘れず、残りの小学校生活をさらに充実したものにしていってほしいと思います。



3 年生 食と美の一日

10月20日（金）に3年生は「丸子給食センター」の見学と「サントミュージゼの美術展」の見学を行いました。給食センターでは、窓ガラス越しに、タンドリーチキンやABCスープの用意をしている様子が見学できました。子どもたちは、給食を調理してくださっている方々の様子を見て、「これからは給食を残さず食べたい」という感想を発表してくれました。おなかをすかせた

子どもたちは、その後、上田城櫓下広場でお弁当を食べました。天気も良く、心地よい秋晴れの中、色づく葉に秋を感じながら、幸せな時間を過ごしました。

午後は、サントミュージゼ美術館で美術作品鑑賞を行いました。ちょうど企画展で「うるおうアジア」展が行われていました。アジアの近現代美術という不思議な展示でしたが、アジアのポップでキュートな展示に、子ども達は見て聞いて感じる貴重な時間となりました。帰りは上田駅から大屋駅までしなの鉄道で移動しましたが、昨年度の乗り物遠足の経験が活かされて、スムーズに乗り降りすることができていました。マナーを守ってすばらしい社会見学になりました。



2年生 すごいな書状区分機

10月24日(火)2年生は、「上田郵便局」へ見学に出かけました。事前学習で、国語の「お手紙」では、かたつむりくんが4日かけて配達していたけど、本当の郵便はどうだろうとなり、実際に大きな郵便局へ出かけました。郵便局では、普段近くで見ることのできない、配達のパイクや車を見学したり、実際に郵便を分別したりする様子を見学しました。

特に書状区分機という高速で郵便を仕分ける機械の見学では、大量の郵便を局員さんに流していただき、ものすごい音とスピードに子どもたちもはがきに目が追いつかない状態でした。郵便局では局員さんの質問に対する答えを聞き逃さないよう、せつせとメモを取りました。

また、自分で書いた手紙もポストに投函し、上田城公園でもたくさん遊んで充実した一日になりました。自分で出した手紙は何日で届いたかな？



5年生 身近なところの大工場

11月14日(火)に、5年生は、藤原田にある「松山株式会社(ニプロ)」へ社会見学に出かけました。ニプロは、どんな会社なのか、知っている児童はほとんどいませんでしたが、見学を終えた子どもたちは、地域の企業のすごさを、実感できたようです。ニプロは、松山犁(まつやますき)という農業機械を明治時代に開発し、農業に大きな改革をもたらしたとのことで、今では、トラクターの後ろにつけるロータリーなどの農業機械を製造している大手企業です。見学を

させていただいた工場は、整然と整理整頓され、とても仕事がしやすい効率の良い仕事場になっていました。子どもたちは説明を受けた後に、ニプロの帽子をいただき、実際にそれを被って、工場を周りました。日本の食糧生産を支え、地域の環境保全等にも取り組んでいるニプロから、農業、工業、自然環境の学びをつなげることができた子どもたちでした。



うまくやけたぞ

2回延期になっていた焼き芋大会が、11月28日（火）に1、2年生合同で行われました。中庭で育てたさつま芋の収穫量はまあまあでしたが、大きめの芋が多かったので、小さく切って火が通りやすいようにしました。落ち葉や焚き木のご協力をご家庭にもしていただき、しっかりとおき火を作って、じっくりと焼き上げることができました。始めにワラや落ち葉を使って焚き木に火をつけると、子どもたちは大喜びで「あったかーい」と手を伸ばしていました。子どもたちは待っている間、火の番をする子、鬼ごっこをする子様々でしたが、おいしい芋が焼きあがって笑顔いっぱいになりました。11月下旬にしては、暑いぐらいの陽気でしたが、ゆったりとした秋の一日を楽しみました。



特別おはなし会ありがとうございました

12月7日（木）に塩川お話の会のみなさんによる「特別おはなし会」がありました。読書旬間中に行われる予定でしたが、学級閉鎖等で延期されこの日の開催となりました。年に1回のお楽しみの時間です。今回からコロナ禍以前と同じように、視聴覚室で行うことになりました。

「ライオンとねずみ」「ニンジャ さるとびのすすけ」「仙人のおしえ」などのお話では、スクリーンに映し出される絵と工夫して作り出す効果音、それぞれ役によって変わる声色に子どもたちは引き込まれていきました。お話の最後につけられる慣用句「むかしまっこう」「とっぴんぱらりのぷー」などの紹介をしていただいたり、話の中に出てきた「蛇骨石（じゃこつせき）」が上田（塩田）でとれることなどをまとめた資料を見せていただいたりと子どもたちの興味を引き出して





いただく内容が盛りだくさんでした。このように長年にわたって、地域の方々に貴重な時間を提供していただけることは、とても幸せなことだと改めて感じました。

おはなしの会に皆さんには、コロナ禍が明け、お仕事等お忙しい中、ご準備を進めるために、何度もご来校いただき、練習、打ち合わせをしていただきました。本当にありがとうございました。

○児童の感想より

- ・ 3冊読んでもらったけど、一番面白かったのは、「さるとびすすけ」です。問題があると忍者が出てきておもしろいからです。本は本当に大好きです。
- ・ 前日から「どんなお話をしてくれるのかなあ」とワクワクしていました。私が特に心に残っているのは仙人のお話です。お願いが三つしかできないという時に他の人の願いをかなえてあげるといのが心に残っています。
- ・ 声の感じや物の音を再現したり、表現力のある読み聞かせをしたりして、感動しました。全部知らないお話だったけど分かりやすかったです。

令和5年 お世話になりありがとうございました

個別懇談会ではお忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。懇談会でお話し共有したことを大切にして、今後も引き続きお子様の学校生活がより充実するように、職員一同励んで参りたいと思います。

まもなく2学期が終わるとともに令和5年が終わります。今年も大変お世話になりました。皆様、よいお年をお迎えください。

なお、冬休みの期間のうち12月29日（金）から1月3日（水）まで閉庁となります。この期間の緊急な連絡等は、学校の留守電でも案内されますが、市役所（0268-22-4100）へお電話を入れてご用件をお伝えいただき、学校側からの折り返しの連絡とさせていただきますのでご承知おきください。



国会議事堂からみなさん

よいお年を

塩川小6年生